

「チーム医療」の重要性を体感 ～歯学・歯科衛生学・薬学・栄養学の多職種連携医療教育～

愛知学院大学（愛知県日進市、学長：木村 文輝）は、歯学部・薬学部・健康科学部・短期大学部（歯科衛生学科）の学生436名が一堂に会して多職種連携医療教育を実施します。

学生達は将来の医療関連職として、各自の専門性を発揮しつつ、他の専門領域の意見を尊重しながら多職種連携医療の重要性を学ぶ機会となります。医療系学部が集まる本学ならではの特色ある教育です。特に1年生の時から専門職を意識できるこの授業はプロフェッショナルとなる学生にとって有意義なプログラムです。本学ではこの取り組みが医療の未来に大きく貢献することを目指しており、メディア等で取り上げていただけたら幸いです。

<開催概要>

開催日時： 令和6年6月7日（金）14時～18時40分 頃

会場： 愛知学院大学 楠元キャンパス 歯学・薬学図書館情報センター 4階 大教室
（愛知県名古屋市中種区楠元町1-100）

参加者： 計436名
愛知学院大学 歯学部1年生（88名）、薬学部1年生（156名）
健康科学部 健康栄養学科1年生（83名）、短期大学部 歯科衛生学科1年生（109名）
※健康科学部健康栄養学科と短期大学部 歯科衛生学科の学生達は今年度より初めて参加します。

内容： ひとつの教室に参加学生全員が集まり、4学部（学科）の学生混合のグループ（5～6名）に分かれ、学生同士の健康に関する日常会話の書かれたシナリオを題材に意見を出し合い、レポートにまとめて発表します。※問題基盤型学習（PBL：Problem Based Learning）にて実施。

<昨年度の様子>



【参加学生の声】

「他学部の方々と共に考え、議論することで、自身の学部しかないという環境では考えつかないような意見、アイデアが沢山あり、今までの凝り固まった考え方をやめ、柔軟な発想が身についた。」

「チーム医療のように他学部の学生と意見交換をし、患者さんの問題に対して一緒に解決に望む経験ができてよかった。」

※本取り組みについて取材いただける場合、下記お問い合わせ先までご一報いただけると幸いです。

<取材に関するお問合せ>

愛知学院大学 総務部総務課 加藤、酒井、今泉、山本

TEL：0561-73-1111（代） E-mail：somu@dpc.agu.ac.jp